

高松宮記念杯 第50回全日本実業団バスケットボール選手権大会 大会概要

- 1 主催 公益財団法人日本バスケットボール協会
一般社団法人日本実業団バスケットボール連盟
- 2 主管 近畿実業団バスケットボール連盟
- 3 後援 一般財団法人大阪府バスケットボール協会
大阪市
- 4 特別協賛 株式会社 ヤング商事
- 5 大会期日 平成30年2月10日(土)～2月13日(火)
- 6 会場 大阪市立中央体育館
(所在地:〒552-0005 大阪市港区田中3-1-40 / TEL:06-6576-0800)
地下鉄中央線「朝潮橋」駅下車 徒歩1分
- 7 参加資格 (公財)日本バスケットボール協会及び本連盟に加盟登録しているチーム及び所属選手で、次の地域別割当数に基づき、各地方実業団連盟から推薦された男子32チーム、女子16チームとする。

地域別	男子	女子
北海道	1	0
東北	1	2
関東	11	5
北陸	1	1
東海	5	1

地域別	男子	女子
近畿	8	4
中国	2	1
四国	1	1
九州	2	1
合計	32	16

※近畿・男子 6チームは開催地枠により+1チーム

- 8 組合せ 主催者の責任抽選とする。
- 9 競技規則 現行の(公財)日本バスケットボール協会競技規則による。
- 10 チーム人員及びエントリーについて
部長、監督、コーチ、アシスタントコーチ、マネージャー等を含めスタッフ7名以内、選手18名以内(当年度登録選手より)の合計25名以内とする。
外国籍選手のチーム内登録人数は2名以内とし、試合に出場できる選手はオンザコートの人数1人までとする。
ベンチで指揮をするスタッフ(コーチ・アシスタントコーチ)は、JBA公認コーチC級以上の資格を持っていること。(2015年度より資格を保持することは必須です)
コーチがベンチに入る際は、必ず「コーチライセンス証」をホルダーに挟み首から下げて試合を行うこと。
なお、エントリー変更は原則的に認めない。但し、病気・怪我等理由がある場合、医師の診断書を添付して大会開催前日までに大会実行委員長宛に申請することが出来る。
- 11 ユニフォーム ① 番号は、0番および00番から99番まで使用できる。
② 色、形とも統一されたユニフォームを着用すること。
③ ユニフォームは濃・淡の2着を必ず用意すること。
④ パンツの長さはひざ上までとする。ひざ頭にかかってしまう長さのパンツは、認めない。
- 12 試合方法 ① 男子は1ブロック4チーム編成とし、A～Hの8ブロックに分かれ、2日間で予選リーグを行う。
② 女子は1ブロック4チーム編成とし、W～Zの4ブロックに分かれ、3日間で予選リーグを行う。
③ 男女とも各ブロックの1位チームにより、決勝トーナメントを行なう。
④ 男女とも3位決定戦は行なわない。
- 13 予選リーグの順位決定方法 ① チームの順位は勝点によって決定する。(勝者2点、敗者1点、棄権0点)
② 2チームが同じ勝点の場合は、両チームの対戦で勝ったチームを上位とする。
③ 3チームが同じ勝点の場合は、同点チーム間で行われた試合のみを考慮した得失点差(得点-失点)の多いチームを上位とする。
- 14 表彰 男女とも優勝、2位、3位チームを表彰する。
個人賞は、最優秀選手、敢闘選手を表彰する。